

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	<p>①普通科は、外国語教育・理数教育を重点化し、探究的な学びの推進、教科等横断的な学びの推進により教育課程の深化を図る。</p> <p>②専門学科は、専門力の向上と教育課程の共通化をいかにした学力向上をめざす。</p> <p>③外国につながるのある生徒への支援体制を強化する。</p>	<p>①②STEAM 教育研究推進校としての取組に基づき、教科等横断的な学びや探究的な学びの深化を図り、全学科の生徒の能力を伸ばさせる教育を推進する。</p> <p>②教育課程の共通化をいかにし、専門学科の生徒の学びの深化を図る。</p> <p>③外国につながるのある生徒をはじめとした多様な生徒に対する組織的な支援の充実を図る。</p>	<p>①②授業研究期間を設け、学校全体として課題や情報を共有し授業改善を行うとともに、教科等横断的な学習プログラムの研究開発を行う。</p> <p>①②専門学科の専門科目や普通科の「総合的な探究の時間」等を含めた教科・科目における探究的な学びを推進し、課題の発見および根拠を持って解決方法を立案することを通して生徒の自己実現を目指す。</p> <p>①②英語の外部検定試験の大学における利用方法について検証し、周知を図ることにより受検を推奨する。</p> <p>③多文化共生教育推進チームを中心に、情報共有や研修を行うとともに、多文化教育コーディネーターとの連携・協力により放課後日本語教室等の必要な支援を企画・運営する。</p> <p>③CEMLA スクール主管校として、運営協議会参加各校と連携しながら CEMLA スクールの活性化に努める。</p>	<p>①生徒による授業評価の項目に教科等横断的な学習プログラムにより、他の教科で学んだことが、別の学習の場面で生かされることがあったか。「肯定的な回答」の回答率が60%以上となったか。</p> <p>②生徒による授業評価の項目3(深い学び)、項目6(項目3と関連の深い項目)、項目7(より高次な学びの構築)における肯定的な回答の割合が、前年度より向上したか。</p> <p>①②英語外部検定試験の合格者数が前年度よりも増加したか。</p> <p>③各年次および学校全体での情報共有を前後期各2回以上実施することができたか。</p> <p>③多文化共生教育推進チームで業務分担し、多文化教育コーディネーターと協働して必要な支援を円滑かつ組織的に進めることができたか。</p> <p>③CEMLA スクール主管校として、より多くの職員を配置し、CEMLA スクールの活性化に取り組むことができたか。</p>
2 生徒指導・ 支援	<p>①生徒が起点となる主体的活動の経験値を重ね、活力と発信力のある生徒を育成する。</p> <p>②サポート体制の強化により教育相談体制の充実を図る。</p> <p>③安全な交通社会の一員として交通安全教育の推進を図る。</p>	<p>①生徒が主体的に取り組む探究的な視点を持った活動を支援し、他者理解によるコミュニケーション力の向上、心身の健全な育成をめざす。</p> <p>②機動性の高い教育相談体制の充実を図り、事案の早期発見と早期対応をめざす。</p> <p>③日常的な交通安全指導を含め、地域とともにある交通安全教育をさらに推進し、生徒の安心・安全な学校生活を支援する。</p>	<p>①生徒が主体となった実行委員会を充実させ、各行事の企画・運営の体制を構築し支援する。また、「SAGM Synergy」の理念を WE FES に拡充し、内容の精選に促進する。</p> <p>①部活動が教育活動の一環であることを再確認し、学校全体として指導体制の確立を図るとともに、普通科生徒の高加入率と専門学科生徒との学科融合した活発な活動をめざす。</p> <p>②SC・SSW・コーディネーターの連携を密にし、教育相談体制をさらに充実させる。</p> <p>②交通安全講話や春秋の交通安全デー、自転車ヘルメット着用、自転車点検等の交通安全教育活動を充実させる。</p>	<p>①生徒が主体となった実行委員会や各行事では、探究的な視点や学科融合型の相乗効果に進展がみられたか。また「SAGM Synergy」の理念を WE FES に拡充・精選ができたか。</p> <p>①全体の部活動加入率が90%以上、普通科85%以上が維持できているか。また、学科融合した活発な活動により各部の実績はあげられたか。部活動ドリーム大賞等は受賞できたか。</p> <p>②コーディネーターを中心に年次、担任、家庭、SC、SSW、ケース会議等を通して緊密な情報共有に努め、早期発見・早期対応を目標とした組織的な教育相談を図れたか。</p> <p>③交通安全に関する各啓発活動をより充実することができたか。</p>

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの才能を伸ばす個別最適な学びの推進により、国公立・難関私立大学への進学をめざす。</p> <p>②困難な状況にも屈せず立ち向かうたくましい弥栄人を育成し、卒業後の姿を自ら描けるキャリア教育の充実を図る。</p>	<p>①変化する進路環境と生徒の学習意識や進路意識の情報を提供するとともに、個々の生徒の対応したきめ細やかな指導を図る。</p> <p>②探究活動を軸としたキャリア教育の充実を図る。</p>	<p>①「進路ガイドブック」「進路だより」及び各種説明会等を通じて、生徒、保護者へ進路環境の変化を周知し、学習のあり方等を考えさせる。</p> <p>①長期休業等における補習・講習を充実させる。</p> <p>②「理数探究」「学術探究」「総合的な探究の時間」の探究活動を通して、自らの進路を考察する機会を増やす。</p>	<p>①進路実現に向けて、生徒自身が自分に合った試験種を的確に選択し行動する支援ができたか。</p> <p>①補習・講習の実施講座数と講座の内容を充実することができたか。</p> <p>②探究活動と「やえいノート」の活用が効果的なものとなり、1年次「自己発見」、2年次「自己探究」、3年次「自己実現」を図ることができたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域の小中学校・特別支援学校・大学や博物館等との機動的な連携を図り生徒の自己有用感につなげる。</p> <p>②地域との協働により地域貢献意識の向上を図り地域に信頼される学校づくりをめざす。</p>	<p>①地域の様々な機関と連携し、本校生徒が地域と積極的に関わることで視野を広げ、自己有用感を育む。</p> <p>②地域の学校等と協働により、開かれた学校づくりをさらに推進する。また、本校の教育活動をさらに周知するため、学校ホームページの充実を図り、本校の魅力と特色についてアピールする。また、学校行事等の情報発信など、幅広く広報活動の充実を図る。</p>	<p>①中学生が本校の教育活動に触れる機会を増やすために各部活動が近隣との連携を強化する。また、地域ボランティアとしての関わりを増やすよう努める。</p> <p>①地域の公民館や特別支援学校、美術大学等との連携を深め、地域に貢献する活動に取り組む。</p> <p>②本校の教育活動の周知を行い、本校の魅力と特色をアピールするために、行事の報告など適宜掲載し、ホームページの充実を図る。そのために、記事作成と情報収集体制の強化に努める。</p>	<p>①部活動等を通して近隣の小中学校との連携を深め、特に中学生に対して、本校での教育活動の体験を実施することができたか。</p> <p>①地域の公民館や特別支援学校、美術大学等との連携やボランティア活動により地域貢献活動に取り組み、生徒の自己有用感を醸成することができたか。</p> <p>②行事ごとにホームページの更新を行い、本校の魅力と特色を発信することができたか。</p> <p>②メディア等による学校紹介の機会をとらえ、学校広報活動を積極的に展開することができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①広い敷地を有効活用できる環境の整備を進める。</p> <p>②防災教育・安全教育の組織的推進を図る。</p> <p>③事故・不祥事防止を徹底する。</p> <p>④働き方改革を進め、教職員の資質向上に努める。</p>	<p>①効果的な教育活動及び防災の観点から施設・設備の整備を図るとともに校内美化を推進する。</p> <p>②本校周辺の防災上の特徴をとらえ、実践的な防災対策を進める。</p> <p>③不祥事ゼロプログラムに基づいた不祥事防止研修を実施するとともに協働意識の醸成を図り、事故の未然防止に努める。</p> <p>④教職員の働き方改革をさらに推進し、組織的な学校運営と校務の効率化を更に進め、長時間勤務を是正する。</p>	<p>①不要物品の廃棄、定期的な清掃により校内の美化を徹底する。</p> <p>①教育活動に必要な環境整備を行う。</p> <p>②災害時に実効性のある避難ができるよう防災訓練の方法を検討する。</p> <p>③計画的な研修を実施し、不祥事防止会議を活用して成績処理等における不祥事の防止を徹底する。また、帰属意識を高めるよう同僚性のある風通しの良い職場づくりに取り組む。</p> <p>④タイムマネジメントの視点と目指すべき教職員像の観点から教職員の働き方改革を推進する。</p>	<p>①規定の手続きに従って確実に不要物品の廃棄を行い、校内美化を徹底することができたか。また、大掃除及び日常の清掃を徹底することができたか。</p> <p>①校内の教育環境整備として無線LANアクセスポイントを整備することができたか。</p> <p>②生徒及び教職員の防災や安全に対する意識を高める防災訓練を計画・実施することができたか。</p> <p>③より効果の高い職員研修を実施し、不祥事の未然防止に取り組むことができたか。</p> <p>④教職員の働き方改革をさらに推進し、長時間労働者の割合が前年度と比較して減少させることができたか。</p>